

戦争体験文庫第 70 回資料展示

「皇軍万歳双六」 が示すもの



2025 年 11 月 1 日(土)～2026 年 2 月 26 日(木)

解 説

今回の展示では「皇軍万歳双六」を取りあげる。これは、大日本雄弁会講談社が発行している月刊雑誌『少女倶楽部』の1940年（昭和15）新年号の付録として頒布されたもので、左側にある説明部分では、双六の遊び方の説明に加え、「銃後の少女の心掛けと戦地のやうすが、たのしくあそびながら、しらずしらずのうちに、くわしくわかる」ことをうたっている。

「銃後の少女の心掛け」については、ふり出しから23コマまでの前半、双六の外周部で描かれている。ここでは、一コマごとに、推奨される行動とされない行動が絵入りで示されている。例えば1の千人針は、印をつけた布地に、ひとりが一針ずつ縫い目を入れていくもので、出征兵士のおまもりとされた。慰問文や慰問袋も出征兵士に対する激励の手紙や贈り物である。貯金や質素儉約、国債の購入も、戦時インフレを避けるために盛んに呼びかけられていたものであり、ラジオ体操や防空訓練といった当時の盛んになっていたイベントも盛り込まれている。

その一方で、11朝寝坊は4体位向上（ラジオ体操）、14ぜいたくは10質素儉約、19なまけるが12勉強のコマまでそれぞれ戻るように設定されている。

しかし、サイコロの目によって、陸上を進むコースと、海上を進むコースに別れる後半部分に関しては、「戦地のやうす」が詳しくわかるものとはなっていない。「交戦」「魚雷とりのけ」のため一回休み、飛行機によるショートカット、「橋梁不通」や「敵前上陸」によるルート変更といったイベントがときおり生じるものの、数字のみが記されたコマをサイコロに従って淡々と進むものになっている。そして、45コマに相当する上りで、都市を占領する光景で終わっている。また後半部のルートは、明らかに当時の戦場たる中国大陆と東シナ海を思わせるものになっているが、具体的な地名等を一切示しておらず、背景には平和に暮らす現

地住民と日本兵の姿のみが描かれている。例外的に、交戦のため一回休みになっている陸28コマの上部には、青龍刀らしきものを手にした中国兵が描かれるが、これとて交戦光景が描かれているわけではない。題字の右には、この双六が陸海軍の校閲のもとに作成されたことが示されているが、当時のメディアには、軍公認の従軍記者によるレポートがあふれているので、軍自体が「戦地のやうす」を、具体的に盛り込むのを嫌っていたわけではないだろう。出征しない読者層を想定して、あえて戦場を無色透明に表現しているように思える。

『少女倶楽部・少女クラブ総目次』（ゆまに書房、2010）で確認すると、1923年（大正12）1月の同誌創刊号でも、「新案余興お伽双六」を特別付録としている。その後も新年号には付録をつけることが通例になっており、当初はほぼ双六だったが、しだいに別冊やカードなど他の種類の付録も付けられるようになる。

例えば、「六大付録つき少女倶楽部昭和七年新年号」をうたった1932年のものでは、「少女手芸教本」「最新式闘球盤」「教育漫画双六」「和装洋装新案着せ替へ人形」「少女美文宝典」「傑作面白文庫」をそれぞれ第一～第六付録としている。翌年以降は、新年号に多数の付録が付くのは相変わらずだが、その中に双六は見えなくなり、「皇軍万歳双六」で久々の復活だった。さらに、翌1941年からは、新年号にも付録がつかなくなり、再び新年号付録が復活するのは、1949年まで待たねばならなかった。定番ではあるが、付録の豪華化に伴い姿を消していた双六が復活したのも、翌年から付録そのものが姿を消したことを考えあわせれば、物資不足の反映といえるだろう。

案の中村星果は、講談社社員として兄弟誌『少年倶楽部』の付録も数多く手がけている。画の澤井一三郎もやはり講談社系の媒体で多くの挿絵や漫画を発表する一方で、戦後は絵本製作にも携わっている。

	「皇軍万歳双六」の構成				
	(銃後編)				
		ふり出し		毎朝宮城の方をむいて遙拝いたしませう	
	1	千人針		一針一針にまごころこめて	
	2	勤労奉仕		兵隊さんは命がけ、私たちはたすきがけ	
	3	武運長久祈願		神社の前では脱帽敬礼	
	4	健康向上		早起毎朝ラヂオ体操	
	5	防空訓練		あわてるなきまり正しく順序よく	
	6	軍用動物愛護		愛せよまもれよ無言の戦士	
	7	国旗掲揚		仰ぐ日の丸 輝く日本	
	8	慰問袋/慰問文		少女のやさしさまごころこめて	
	9	貯金		貯金するのも忠義の一つ	
	10	質素儉約		すききらひなくなんでもたべませう ／物はだいじに工夫でいかせ	
	11	朝ねぼう		朝ねぼうは不健康のもと 4へもどる	
	12	勉強		銃をとるこゝろでまじめに勉強	
	13	国債を買いませう		国債を買って長期のそなへ 17へとぶ	
	14	ぜいたく		美しい着物より清潔な着物 10へもどる	
	15	廃品回収		ボロ屑紙きれ金物なんでもいかせばお国の宝	
	16	神社のまはりを		きれいにしませう	
	17	兵器献納		むだをはぶいてお国へ奉公	
	18	傷兵に感謝		国をまもった傷兵まもれ	
	19	なまける		兵隊さんのおほねおりをしのびませう 12へもどる	
	20	出征遺家族慰問		みんなで護ろう出征遺家族	
	21	スパイに注意		はずむ話にゆるすなこゝろ	
	22	白衣の天使		ありがとう	
	23	出征兵士見送り		(出征兵士を送る歌、歌詞)	
	(陸上編)			(海上編)	
	24	(23で1・2・3)	24	(23で4・5・6)	
	25		25		
	26		26		
	27		27		
	28	交戦のため一回休み	28		
	29	橋梁不通のため23へ	29		
	30		30		
	31		31	水雷とりのけのため一回休	
	32		32		
	33		33		
	34		34		
	35		35		
	36	43へとぶ(航空機)	36	敵前上陸、陸30へ	
	37		37		
	38		38	空襲43へとぶ	
	39		39		
	40	交戦のため一回休み	40		
	41		41		
	42		42	交戦のため一回休	
				45上り	

資料一覧					
請求記号	タイトル	著者	出版者	出版年月	所在
(戦体非図書資料)	皇軍万歳双六	中村星果案;澤井一三郎画	大日本雄辯會	1940.1	-
910-シヨ-Z	少女俱樂部 1939年1,7 40年1-3,5-7,9,10 41年2-4,8,10,11 42年1-7 44年1月号		大日本雄辯會	1941-1944	書庫1
051.8-クロコ	『少女俱樂部・少女クラブ』総目次 上,下巻(書誌書目シリーズ:92)	黒古一夫監修	ゆまに書房	2010.3	書庫1
706.9-クンマ	私の宝物:野間清治と少年少女雑誌の世界:第85回企画展	群馬県立土屋文明記念文学館編、発行		2014.7	書庫1
081-10-310	戦中用語集(岩波新書:黄版-310)	三國一朗著	岩波書店	1985.8	書庫1
051.8-ヤヨイ	少女雑誌ふろくコレクション(らんぷの本)	弥生美術館, 中村圭子, 外館恵子編	河出書房新社	2007.10	書庫1
289-325-3	講談社 野間清治(出版人の遺文)	栗田確也編	栗田書店	1969.2	書庫1
721.8-118	日本絵双六集成 新訂版	高橋順二編著	柏美術出版	1994.1	書庫1
759-39	「少年」のふろく	串間努著	光文社	2000.11	書庫1
759-オマケ	おまけとふろく大図鑑(別冊太陽. 子どもの昭和史)		平凡社	1999.2	書庫1
909.1-ハ	日本の戦争児童文学:戦前・戦中・戦後(日本児童文化史叢書:1)	長谷川潮著	久山社	1995.6	書庫1